

7. 良好な景観形成に必要な事項

7-1 景観重要公共施設の整備に関する方針

基本事項

道路、公園、河川等の公共施設は、地域の景観の軸や拠点となっており、中之条町の良好な景観形成を牽引する役割を有している。従って、公共施設の整備にあたっては、中之条町の景観形成の目標や基本方針を尊重するとともに、良好な景観形成のモデルとなるように先導的役割を担う。

整備に関する方針

景観重要公共施設の整備にあたっては、中之条町及び各地域の景観特性、景観形成の方向性を踏まえるとともに、地域住民の意向を配慮しつつ、以下に示す方針を基本として実施するものとする。

道路

中之条停車場線、日本ロマンチック街道、景観形成重点区域内の道路(=景観形成道路)を景観重要公共施設として位置づける。

中之条停車場線

- ◇シンボル道路として相応しい道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇街路樹や植栽帯等は街並みと一体感のあるものとする。
- ◇電線類の地中化を推進する。

日本ロマンチック街道

- ◇広域幹線道路として眺望を意識した道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇植栽の可能な区間は緑化を推進する。

景観形成道路(※17頁～23頁参照)

①四万温泉地区内

- ◇国立公園の眺望や湯治場の風景を意識した道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇電線類の地中化を推進する。

②伊参地区及び六合地区内

- ◇農山村の眺望を意識した道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇植栽の可能な区間は緑化を推進する。

③富沢家住宅周辺地区及び赤岩地区内

- ◇歩行者に配慮した安全に歩くことのできる道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇電線類の地中化を推進する。

④王子原地区内

- ◇中心市街地のモデル地区として界索性に配慮した道路空間を形成する。
- ◇道路内の施設は統一感のあるものとする。
- ◇街路樹や植栽帯等は街並みとして一体感のある道路景観を形成する。

河川

吾妻川、四万川、白砂川を景観重要公共施設(=景観形成河川)として位置づける。

吾妻川、四万川、白砂川

- ◇水辺や広々とした草地等を活用し、貴重な自然景観の保全を図る。
- ◇護岸には自然素材やこれを模したものをを用いるなど、自然環境に配慮した景観を形成する。
- ◇緑道の整備等による歩行者空間の確保を行う。
- ◇周辺の道路等の公共施設と調和した一体的な景観形成に努め、周辺の景観の向上を図る。